



東京オリンピック・パラリンピックに向けて： 柔道着寄贈

2020年1月14日

1月14日午後、藤村和広大使は山下藍書記官と共にサンティアゴ・デ・クーバ県ヒロシマ道場を訪問し、柔道着の寄贈式典に参加しました。

藤村大使は、ヒロシマ道場がメダリストを含め多くの柔道家の育成に貢献してきた功績を称え、ペドロ・マセオ同県柔道連盟会長兼ヒロシマ道場館長に在外公館長表彰を授与するとともに、特定非営利活動法人 JUDO s から寄贈された柔道着を手渡しました。



また、井上康生 JUDO s 理事長からの書簡を渡し、東京2020オリンピック・パラリンピックで、道場ヒロシマで技を磨いたコーチ陣に率いられたキューバの柔道ナショナルチームが、井上康生氏に率いられる日本のナショナルチームと対戦するのを楽しみにしていると述べました。

式典には、アリーナ・サンチェス サンティアゴ・デ・クーバ県スポーツ局長、ヤイマ・ブルネット サンティアゴ・デ・クーバ市スポーツ局長はじ

め、同県のスポーツ関係者が出席するとともに、ヒロシマ道場で練習を積む子供たちが集まりました。

今般、特定非営利活動法人 JUDO s はサンティアゴ・デ・クーバ県ヒロシマ道場に50着、キューバ柔道連盟がニーズを認めたハバナの道場に50着、計100着の柔道着をキューバに寄贈します。



広報文化班
在キューバ日本国大使館
電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904
メールアドレス: cultura@hv.mofa.go.jp
www.cu.emb-japan.go.jp
<https://www.facebook.com/EmbajadaJapon.Cuba/>